



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

“ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を”

RI会長
ロンD.バートン
2570地区ガバナー
中井眞一郎

継続 変革 簡素 充実

第 2578 例会 2014.1.15

—— ロータリー理解推進月間 ——

天候 曇 (NO. 50-29)

会長 吉田武明 幹事 山岸敬司

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 大野君、大崎君

例会場: マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎ (042) 974-4000

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 吉田武明会長
- ・ソング 我等のなりわい
- ・卓話 和田 浩様

【会長報告】

お祝いを差し上げます。米寿・加藤義雄会員。
古稀・山川荘太郎会員。(拍手)

マルチプル・フェローのバッジを贈呈します。
安藤泰雄、島田秀和会員。(拍手)

国際ロータリー日本支部へ半期の報告書、
会長・幹事でサインをして昨日お送りしました。

会長、米山記念奨学委員長、カウンセラー、
奨学生に対し、修了式2/23(紫雲閣)への
案内が来ています。

【幹事報告】

- ・今月のロータリーレート 1 \$ = 102 円
- ・新会員の入会式 1 / 22
- ・吉田(健)夫人を偲ぶ会 1 / 19、献花のみ。
- ・元RC会員の丸山様が亡くなり明日葬儀。
会長名義で弔電を送ります。
- ・クラブ定款細則に則り、本日、会長・幹事で
吉田(健)会員宅を弔問。お花をお持ちします。

【委員会報告】なし

【出席報告】無断欠席なし 塩野出席委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	49名	85.19%	法定休日のため例会 取消修正はありません

【M U】

- 1 / 8 (第3G) 山岸君
- 1 / 14 (日高) 前島君

【結婚・誕生日祝】

新井親睦活動委員

- ◇米寿おめでとう 加藤義雄君
- ◇古稀おめでとう 山川荘太郎君
- ◇入会記念日おめでとう
木川君、間邊君、服部君
- ◇結婚記念日おめでとう
高橋君、大河原君、吉田(健)君
- ◇会員誕生日おめでとう
1 山川君、間邊君、12 吉島君、13 加藤君
16 島田君
- ◇夫人誕生日おめでとう
1 吉田(武)夫人、3 石井夫人、12 加藤夫人
20 半田夫人、22 山岸夫人、26 小久保夫人
29 大崎夫人

【S A A 報告】

◎ニコニコBOX

- ・お蔭様で米寿を迎えることが出来ました。
加藤君
- ・いつの間にか古稀になってしまいました。
山川君
- ・和田県議ようこそ。本日は卓話よろしくお
願い致します。吉田(武)君、間邊君、山岸君
山川君、小谷野君、矢島(巖)君、石井君
高橋君、細田(吉)君、吉島君、小川君
- ・小谷野様、米山特別寄附金、有難うございま
した。平沼君
- ・入会 24 年目に入りました。今後共よろし
くお願い致します。木川君

- ・63才になり入会18年です。今後共よろしくお願い致します。 間邊君
 - ・62才になりました。まじめに生きていきます。 島田君
 - ・結婚して51回目の記念日を迎えました。二人でなんとか暮らしています。 山岸君
 - ・誕生日祝い有難うございます。 加藤君、吉島君
 - ・先週欠席しました。 矢島(巖)君
 - ・結婚記念、有難うございます。 高橋君
 - ・妻の誕生日祝い有難うございます。 加藤君、石井君、半田君、小久保君
 - ・遅刻 小川君
 - ・早退 柏木君、田辺君
- 本日計73,000円、累計額746,144円。
◎22日例会当番は齋藤、島田会員です。

【卓 話】

講師紹介 吉田武明会長
現在は環境農林委員長。県会でも評判が良く、上田知事の受けも非常に良いと聞いております。

新年のご挨拶

埼玉県議会議員 和田 浩様

新年明けましておめでとうございます。

今日は資料を配付して、皆様から質問の多いところから始めます。申し上げるまでもないのですが、国の借金は1000兆円を超えました。一番の理由は社会保障費が年々増大している事。これに対処していかなければならないのは県、市も同様。飯能市は(一昨年だったか)社会保障費が予算の50%を超え、活用出来る予算に限られる厳しい現状です。平均年収400万円台と言われますが、両親と小・中学生のいる家庭では既に168万円の公費を受益している一方で、国の税収は法人税ピーク時(1989年)に比べ半減(資料6)。社会保障費は増大、税収は上がらないという構図です。他にも例えば救急車1回呼ぶと約4万6千円の経費。これも公費、税金で賄っている。先進国の中で日本は「中福祉、低負担」のスタンスなのです。そういう背景もあり4月から消費税UPという話になった。安倍総理や各官庁は「中福祉、中負担」が目標です。子や孫にツケを回してしまう事の無いよう大いに議論してご理解頂きたい。受益と負担の観点から考えると概ね年収1000万~1100万円の方を境に、収めた税金よりサービスが少なくなる。従って国民の圧倒的多数は収めた税金よりもサービスを受けているのです。わが国の形は非常にいびつになっており放置していると社会保障費の増大と共に借金は増える一方。今の私達が対応していくギリギリの境目に居るという事をご理解頂きたい。

もう1つの考え方として、歳出削減、ムダの徹底的見直しというのがある。「事業仕分け」で20兆円のお金を出すと民主党は言っていたが、その1割にも満たなかった。理由は、今の予算はかなりギリギリ、厳しくなっており、雑巾で言えば絞った状態なのです。現行制度の中で絞ろうとしたところに欠陥が出て、結局その後ほとんどが復活した。一番大事なのは制度設計をしっかりとする事。ムダをしないのは当然として、私個人は成長戦略派なのです。予算を投入し、常に新しくチャレンジする姿勢を持っていか



なければならぬ。乱暴な例えだが年収5000万円の人と500万円の人がそれぞれ借金を1000万円している場合、同額でも重みは違う。国のGDPが上がってくれば国債額1000兆円に対する考え方もガラッと変わってくる。GDPを上げる経済対策を図る成長戦略の形を私は最も望んでいます。県会で、中小企業を応援する議員連盟の役員として常に申し上げるのは「成長戦略に賭けていく」という事。2年前卓話で話しましたが「自分の背中の中甲羅に合わせてまちの運営をしていけばいい」「甲羅に合わせて生きていく」という議員も居られます。甲羅は一度成長して出来上がれば縮む事はない。しかし行政は生きています。何も手立てをしなければ甲羅はどんどん小さくなり結果的には成り立たなくなってしまう。維持、発展させていくための事業展開をしていかなければいけない。

大久保市長、上田知事、安倍総理は「赤字削減と成長戦略」の2つを、しっかりと絶妙のバランス感覚をもって進めていくことが大事で、ただ目の前にある事業を消化しているだけの事を繰り返していくと、近い将来、大きな落とし穴が来る。ある学者が「これからは自治体間、業種別の差がはっきりしてくる」とおっしゃっていた。私も全く同意見です。

(資料7、8)昨日、県の職員から数字をもらって作りました。合併算定替でH25年度は旧飯能市22億円、旧名栗村8億円、計30億円の普通交付税を飯能市は受けるが、本来の一本算定なら24億円です。合併後H17~26年度の10年間は全額保障期間で、沢辺前市長は増加額分を10年間で56億円受け取る事が出来た。他に合併特例債103億円、合併準備金は3.6億円でしたか、別館はそれで造りました。

いよいよ来年4月(H27年度)からは激変緩和措置期間で、5年かけて増加額を無くしていきます。H32年度には24億円に。今年度より6億円が無くなります。これは重大な問題。来年度、大久保市長のカラーの出る予算編成もあります。市長と県議は夫婦みたいなもの。女房の役目は亭主の価値を上げる事。私は良い女房を目指して、大変な時期だからこそしっかりと取り組んでいきたい。

(資料1)県では半年強で100億円の追加予算で事業しております。上田知事は「安心・成長・自立自尊」を3本の柱にH24~28年度の「5か年計画」を立てました。所謂「総合振興計画」の、市と県との決定的な違いは、県では「5か年検討委員会」を設置し県議会の意見を大幅に反映させたり修正を加えたりする事です。県議約90人から約20名の委員が選ばれ「5か年計画」は修正、追加される。(資料2)「12の戦略」に基づいて各部局が取り組みを出してくるのですが、市と違って必ず具体的な数字を出してくる。達成度も出させるしくみになっています。

飯能市に関しては前年度比、県土整備180%、農林振興126%の予算付け。(資料3)は12月議会での一般質問要旨です。来月からの予算特別委員会では地元の問題を取り上げていきたい。宮ノ瀬橋から西へ100m区間は今年度中に歩道整備に着手。南小畔川の完成も迫りました。久須美の道路も地権者が下がって下さり、飯能から名栗への道路はこれから楽しみに思っています。今年も変わらぬご支援をよろしく願います。

※次週の例会案内は省略。